

## 発刊のことば

今日、わが福生町の発展には郡下諸町村を凌ぐものがある。その一端として見られる、近年の人口増加は驚くべきものである。また、自治会館の設置などの例を考へても政治・経済・文化のあらゆる面で西多摩郡の中心的存在となりつつある現況である。

かように、本町がわずかの年月に急激な発展をみるに至ったうらには、偏へに町を思う町民各位の並々ならぬ努力が重ねられた結果であると、ここに深く感謝の意を表する次第である。

さて、こうして日進日歩、発展の一途を辿る福生町が、町制施行以来二十年の年を迎えたことは誠に喜ばしきことで、町民各位と共に慶賀にたえないところである。

この栄えある時を記念して、福生町の生立ち来った歴史の跡を探り、また現在の様子を書き残す「福生町誌」の発刊は誠に意義のあるものと考ええる。

思うに、郷土愛の精神が発展して愛国心と結び、それがやがて国家の繁栄となって具現するものであると考える。これらの精神の涵養は先ずもって、静かに郷土を理解することに始まるものと信ずる。

かような意味から本誌の発刊は多大な意義をもち、福生町を双肩に担う皆様に少しなりとも役立てば、本誌の目的は十分達せられたものと考ええる。

最後に、本誌編著に日夜努力下さった委員諸氏に感謝の意を表す次第である。

昭和三十五年十月一日

福生町長 瀬古清藏